

議案第 8 号

京田辺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める
条例の一部改正について

京田辺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部
を改正する条例を別紙のとおり定める。

令和 8 年 2 月 1 9 日 提出

京田辺市長 上 村 崇

(提案理由)

本件は、国の乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準が一部改正されたことに伴い、当該基準を踏まえて定める本条例について所要の改正を行うため、提案するものである。

京田辺市条例第 号

京田辺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 の一部を改正する条例（案）

京田辺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（令和 7 年京田辺市条例第 2 3 号）の一部を次のように改正する。

第 9 条の見出しを「（乳児等通園支援事業所の職員の一般的要件）」に改め、同条中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等通園支援事業所」に改める。

第 1 0 条の見出し及び同条第 1 項中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等通園支援事業所」に改める。

第 1 3 条の見出し中「防止」を「禁止」に改め、同条中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等通園支援事業所」に改める。

第 1 6 条第 6 号中「乳児、幼児の区分ごとの」を削り、同条第 7 号中「、終了」を「及び終了」に、「及び」を「その他の」に改める。

第 1 8 条第 1 項中「乳児等通園支援事業者」を「乳児等通園支援事業所」に改める。

第 2 0 条第 3 項中「係る利用定員」の次に「（子ども・子育て支援法（平成 2 4 年法律第 6 5 号）第 2 7 条第 1 項又は第 2 9 条第 1 項の確認において定める利用定員をいう。）」を加える。

第 2 6 条後段を削る。

第 2 7 条中「その職員」を「その乳児等通園支援事業所の職員」に改める。

附 則

この条例は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

京田辺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表

改正案	現行	改正理由
(乳児等通園支援事業所の職員の一般的要件)	(乳児等通園支援事業者の職員の一般的条件)	字句の整理
第9条 乳児等通園支援事業所の職員は、健全な心身を有し、豊かな人間性と倫理観を備え、児童福祉事業に熱意のある者であって、できる限り児童福祉事業の理論及び実際について訓練を受けた者でなければならない。	第9条 乳児等通園支援事業者の職員は、健全な心身を有し、豊かな人間性と倫理観を備え、児童福祉事業に熱意のある者であって、できる限り児童福祉事業の理論及び実際について訓練を受けた者でなければならない。	字句の整理
(乳児等通園支援事業所の職員の知識及び技能の向上等)	(乳児等通園支援事業者の職員の知識及び技能の向上等)	字句の整理
第10条 乳児等通園支援事業所の職員は、常に自己研鑽 ^{きんさん} に励み、法に定める事業の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならない。	第10条 乳児等通園支援事業者の職員は、常に自己研鑽 ^{きんさん} に励み、法に定める事業の目的を達成するために必要な知識及び技能の修得、維持及び向上に努めなければならない。	字句の整理
2 (略)	2 (略)	
(虐待等の禁止)	(虐待等の防止)	字句の整理
第13条 乳児等通園支援事業所の職員は、利用乳幼児に対し、法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。	第13条 乳児等通園支援事業者の職員は、利用乳幼児に対し、法第33条の10第1項各号に掲げる行為その他当該利用乳幼児の心身に有害な影響を与える行為をしてはならない。	字句の整理
(乳児等通園支援事業所内部の規程)	(乳児等通園支援事業所内部の規程)	
第16条 乳児等通園支援事業者は、次に掲げる乳児等通園支援事業の運営についての重要事項に関する規程を定めておかなければならない。	第16条 乳児等通園支援事業者は、次に掲げる乳児等通園支援事業の運営についての重要事項に関する規程を定めておかなければならない。	
(1)～(5) (略)	(1)～(5) (略)	
(6) 利用定員	(6) 乳児、幼児の区分ごとの利用定員	区分の削除
(7) 乳児等通園支援事業の利用の開始及び終了に関する事項その他の利用に当たったての留意事項	(7) 乳児等通園支援事業の利用の開始、終了に関する事項及び利用に当たったての留意事項	字句の整理
(8)～(11) (略)	(8)～(11) (略)	
(秘密保持等)	(秘密保持等)	
第18条 乳児等通園支援事業所の職員は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用乳幼児又はその家族の秘密を漏らしてはならない。	第18条 乳児等通園支援事業者の職員は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用乳幼児又はその家族の秘密を漏らしてはならない。	字句の整理
2 (略)	2 (略)	
(乳児等通園支援事業の区分)	(乳児等通園支援事業の区分)	
第20条 (略)	第20条 (略)	
2 (略)	2 (略)	
3 余裕活用型乳児等通園支援事業とは、保育所、認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。以下「認定こども園法」という。）第2条第6項に規定する認定こども園をいい、保育所であるものを除く。以下同じ。）又は家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事業を除く。以下同じ。）を行う事業所において、当該施設又は事業を利用する児	3 余裕活用型乳児等通園支援事業とは、保育所、認定こども園（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成18年法律第77号。以下「認定こども園法」という。）第2条第6項に規定する認定こども園をいい、保育所であるものを除く。以下同じ。）又は家庭的保育事業等（居宅訪問型保育事業を除く。以下同じ。）を行う事業所において、当該施設又は事業を利用する児	

京田辺市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（案）新旧対照表

改正案	現 行	改正理由
童の数（以下この項において「利用児童数」という。）がその施設又は事業に係る利用定員（子ども・子育て支援法（平成２４年法律第６５号）第２７条第１項又は第２９条第１項の確認において定める利用定員をいう。）の総数に満たない場合であって、当該利用定員の総数から当該利用児童数を除いた数以下の数の乳幼児を対象として行う乳児等通園支援事業をいう。	童の数（以下この項において「利用児童数」という。）がその施設又は事業に係る利用定員の総数に満たない場合であって、当該利用定員の総数から当該利用児童数を除いた数以下の数の乳幼児を対象として行う乳児等通園支援事業をいう。	利用定員の定義を明確化
（準用） 第２６条 第２３条及び第２４条の規定は、余裕活用型乳児等通園支援事業について準用する。	（準用） 第２６条 第２３条及び第２４条の規定は、余裕活用型乳児等通園支援事業について準用する。 <u>この場合において、第２３条中「一般型乳児等通園支援事業」とあるのは「余裕活用型乳児等通園支援事業」とし、第２４条中「一般型乳児等通園支援事業を行う者」とあるのは「余裕活用型乳児等通園支援事業を行う者」とする。</u>	字句の整理
（電磁的記録） 第２７条 乳児等通園支援事業者及び <u>その乳児等通園支援事業所の職員</u> は、記録、作成その他これらに類するもののうち、この条例の規定において書面（書面、書類、文書、謄本、抄本、正本、副本、複本その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物をいう。以下この条において同じ。）で行うことが規定されている又は想定されるものについては、書面に代えて、当該書面に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）により行うことができる。	（電磁的記録） 第２７条 乳児等通園支援事業者及び <u>その職員</u> は、記録、作成その他これらに類するもののうち、この条例の規定において書面（書面、書類、文書、謄本、抄本、正本、副本、複本その他文字、図形等人の知覚によって認識することができる情報が記載された紙その他の有体物をいう。以下この条において同じ。）で行うことが規定されている又は想定されるものについては、書面に代えて、当該書面に係る電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをいう。）により行うことができる。	字句の整理